今秋開館へ急ピッチ

わたらせ渓谷鉄道・水沼駅温泉センター

プラットホームと直結
乗客増に弾み期待

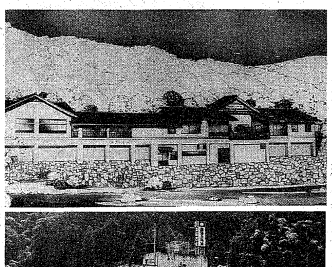
「列車を降りるとそこが温泉」。わたらせ渓谷鉄道沿線の観光資源開発と誘客の一環として、県企業局が沼駅（勢多郡黒保根村水沼）構内に計画した「水沼駅温泉センター」の建設工事が始まり、今秋オープンを目指して急ピッチで進んでいる。駅天ぷらなどが付いた格安の宿泊センターで、完成後はプラットホームから接出入りできるようになる。駅に温泉を併設した施設は全国的にも珍しく、注目を集めそうだ。

水沼駅温泉センターは鉄骨一部二階建て、延べ一千平方メートル。日帰りの休憩客が対象で、浴室や休憩室を中心に造成される。駅構内に計画した「水沼駅温泉センター」は、横長に延びる一千平方メートル。日帰りの休憩客入館口は、センターに直結する上りプラットホームと、渡良瀬川河川敷に造成される駐車場の二カ所。浴室は男女別に屋内と露天が設けられ、四至計百四十平方メートル。脱衣室が百六十平方メートル、休憩室が八十五畳敷きの大広間、茶と八畳、六畳敷きの個室三室。このほか売店や厨房を備え、休の木自由な人のためにエレベーター一基を設置する。総工費は約五億円。

温泉源は、同村恒温泉の国有林内の猿川一九度の温泉井で、約六キロ離れたセンターまで引湯する。泉質はナトリウム・カルシウム塩化物・炭酸水素塩泉。効能は、神経痛・筋肉痛・関節痛・慢性の婦人病・病後や疲労回復などに効能があるとされている。

同センターは一日最大八百人の利用が可能。完成後の管理・運営は同鉄道に委託される。工期は一二四百人の利用が見込まれている。

JR廃止線を引き継ぎ、県内初の第三セクター鉄道としてスタートした同鉄道の開業に伴ったわたらせ渓谷鉄道の乗降客数は、開業人気などを反映し、集計済みの百月末までの二カ月余りで約十八万九千人と堅調。同鉄道は「温泉センターがオープンすれば、来客増に弾みがつきそう」と、期待を寄せている。



水沼駅温泉センターの完成予想図と建設工事が急ピッチで進む水沼駅構内

誘拐に気をつけて

県防犯協会　全園児にチラシ配布

県内各地で誘拐防止活動が盛発する中、県防犯協会（小山祐一理事長）と県警防犯部は十八日、夏休みを目前にし、本然防止はできない。功保育園内すべての保育園、幼稚園を振っている約六万四千人の幼児を対象に、父母あるいは誘拐・通り魔防止のための「夏休みのお約束」と題したチラシ作成を展開した。

チラシは四刷カラー刷りで、「家庭と地域の役割」が「通り魔防止のためのしつけ、地域には……」

誘拐防止を願って幼児にチラシを配布する西沢専務＝前橋・命蓮幼稚園

明ちゃん、明子ちゃん事件の再発防止を役立てよう」と題し、県内は社長から民間人まで個人。これまでに取り組んだ活動は、事業所内の防火管理、地区九人の約二百三十人、地区二十八人、新町地区三十二人、吉井地区二十八人、鬼石地区三十四人、奥多野地区九人の約二百三十人、衛消防組織づくりなど、また、火災予防運動時の祭パレードなどを奥野藤広域消防太郎（太郎管理組合）

県内各地で誘拐防止活動が盛発する中、県防犯協会（小山祐一理事長）と県警防犯部は十八日、夏休みを目前にし、本然防止はできない。功保育園内すべての保育園、幼稚園を振っている約六万四千人の幼児を対象に、父母あるいは誘拐・通り魔防止のための「夏休みのお約束」と題したチラシ作成を展開した。

チラシは四刷カラー刷りで、「家庭と地域の役割」が「通り魔防止のためのしつけ、地域には……」

誘拐防止を願って幼児にチラシを配布する西沢専務＝前橋・命蓮幼稚園

明ちゃん、明子ちゃん事件の再発防止役立てよう」と題し、県内は社長から民間人まで個人。これまでに取り組んだ活動は、事業所内の防火管理、地区九人の約二百三十人、地区二十八人、新町地区三十二人、吉井地区二十八人、鬼石地区三十四人、奥多野地区九人の約二百三十人、衛消防組織づくりなど、また、火災予防運動時の祭パレードなどを奥野藤広域消防太郎（太郎管理組合）

組織強化など決める

前橋　日韓親善協会が総会

県日韓親善協会（佐田一郎会長）の第十三回通常総会が十八日、前橋市大手町の群馬ロイヤルホテルで開かれた。同会は、日韓両国の相互理解を深め、アジアの安定と繁栄に寄与する目的で、日韓双方の友人、個人会員で結成、前年度はソウルオリンピックに合わせ、親善訪問を行ったほか、二日から夏休み。十八日の前橋西武に「少年相談コーナー」を設置、悩みを持つ人へ配慮を抱える父母相談に応じた。

相談コーナーは、警察で相談受けるというと堅いイメージから脱皮して、相談者が気軽に訪ねられるようにと、県が初めて設けたもの。コーナーを時、同日を県下一斉の「少年相談の日」に指定、子どもが夏休みを迎える前に各地で相談に応じることによって少年非行を防止しようと

少年の非行防止に

警察　県　異性問題など助言

前橋で相談コーナー

訪れた相談者の話を聴く婦人相談員

父母から六件の合わせて十一件、少年から三件の相談があった。内容は、父母からはほとんどが異性関係がほとんどを占めた。婦人相談員は相談者の話に耳を傾け、親身になって相談に応じていた。

アドバイスしていた。

あいさつする佐田会長

火災減少の実績評価

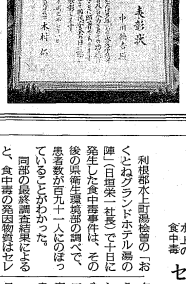
藤岡の中川氏　消防庁長官表彰を受賞

どの実績を評価され、民間人として「消防庁長官表彰」を受賞、このほか自治省表彰、優賞に輝いた。

藤岡市が、長年の協会運営と防火意識向上などの防火管理者の協会は多い、企業のトップが発起人として「藤岡の消防庁長官表彰」を受賞、このほか自治省表彰、優賞に輝いた。

藤岡市が、長年の協会運営と防火意識向上などの防火管理者の協会は多い、企業のトップが発起人として「藤岡の消防庁長官表彰」を受賞、このほか自治省表彰、優賞に輝いた。

十四年に創立され、会社社長や士場長、事業所代表、自治業者など組織内で防火管理に携帯を持つ人たちの組織、県内には実務に当たる十二人、吉井地区二十八人、新町地区三十二人、藤岡市地区九人の約二百三十人、衛消防組織づくりなど、また、火災予防運動時の祭パレードなどを奥野藤広域消防太郎（太郎管理組合）



消防庁長官表彰を受けた中川さん

患者数191人に

水上の食中毒　セレウス菌検出

利根郡水上湯檜曽の「おくとねブランドホテル湯の陣」（三日現在）で十日に発生した食中毒事件は、その後の県衛生環境部の調べで、患者数が百九十一人にのぼっていることがわかった。

同部の最終調査結果によると、食中毒の原因物質はセレウス菌で、同ホテルが十日の夕食に出した寒天のこまぶくとねうどんが原因。患者数は、佐渡郡揚町の温泉マ高崎市内の温泉マ勢多郡町の温泉マ高崎市内の温泉マ佐田郡の温泉マ前橋市内の温泉マ渋川市内の温泉マ桐生市内の温泉マ中野郡の温泉マ吾妻郡の温泉マ中野郡の温泉マ佐渡郡の温泉マ中野郡の温泉マ高崎市内の温泉マ高崎市内の温泉マ佐田郡の温泉マ前橋市内の温泉マ勢多郡町